

地誌 第35回「ラテンアメリカ地誌(2) ～農業と工業～」

○今回のポイント

南米は富裕階層と貧困階層の格差社会となっており、農業と工業にも影響を与えている！！

■大土地所有制と農業の変化

ヨーロッパからもち込まれた農業制度



① 大土地所有制

○大規模な農牧上に多くの労働者を雇い、農園主の管理のもとに行われる農業経営。

○独立自営農民は発生せず、農園主を頂点とした社会経済階層が形成。貧富の差の拡大。

② アグリビジネス

○20世紀後半、企業的な農業経営へ転換。大型機械を導入して商品作物を大規模栽培。

○農業労働者は大量解雇される。

農村から都市へ人口移動

○農村を追い出された人々は都市労働者となり、**③ 低賃金肉体労働**に従事。

○**④ ファベラ**と呼ばれるスラムを形成。

大土地所有制の大農園をラティンデイトというが各地で名称が異なる

- ・ **⑤ ファゼンダ** …ブラジル。
- ・ **⑥ アシエンダ** …メキシコ、ペルー。
- ・ **⑦ エスタンシア** …アルゼンチン。

多様な農業

- アルゼンチン…**⑧ パンパ**で小麦栽培や牛の放牧が大規模に行われている。
- 中央アメリカや西インド諸島…欧米資本による**⑨ バナナ**プランテーション。
- アマゾン…先住民の伝統的な自給的**⑩ 焼畑**農業とアンデス高地の標高に応じて栽培する農業。

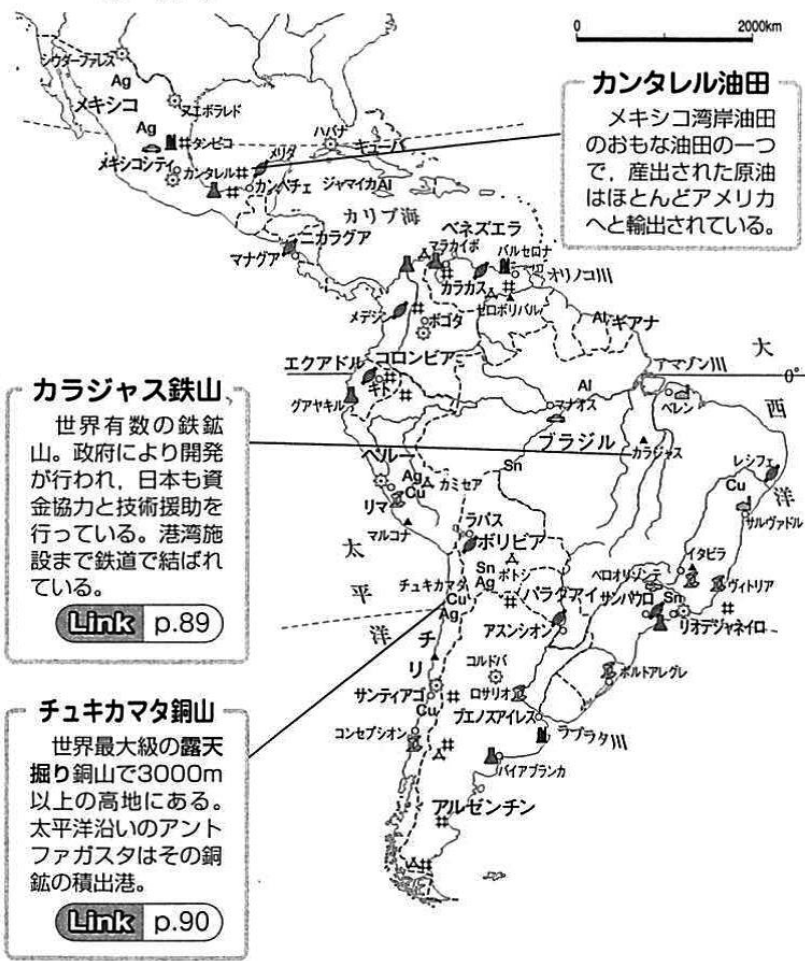
新しい農業とそれに伴う変化

- ⑪ モノカルチャー経済**からの脱却
- ・メキシコやペルー…**⑫ 野菜**栽培。
- ・コロンビア…年間を通して温暖な気候を利用した**⑬ 切り花**
- ・ブラジルやアルゼンチン…企業的な農業経営。**⑭ 大豆**大規模栽培

2010(大豆)		万トン	%
輸出	アメリカ	4235	45.4
	ブラジル	2586	27.7
	アルゼンチン	1362	14.6
	パラグアイ	392	4.2
	カナダ	278	3.0
	世界計	9338	100.0

鉱産資源を基盤とした工業化と生活の変化

工業化の進展



[15] 鉱産資源

・南米の原油・鉄鉱石・すず・銀・銅などを求めて、欧米企業が資本と技術を投入。

[16] 輸入代替工業

欧米諸国から輸入していた工業製品を輸入する代わりに国内で生産する。

[17] 輸出指向型工業

外国の資本と技術を導入して、輸出用の工業製品を作る。

ブラジル	メキシコ
自由貿易地区 アマゾン開発のため [18] マナオス に設置される。輸出入にかかる税金が免除される特別地区。税制上の優遇措置が多くつける。	[19] マキラドーラ メキシコ国内の低賃金労働力を利用し、税制上の優遇措置を設けて輸出向け生産を行う保税輸出加工区。NAFTA 発効後は廃止。

経済発展の光と影

(1) 経済発展の功績

- a. **[20] BRICs** …豊富な鉱産資源、労働力、国内市場に恵まれたブラジルが世界的な注目を集めロシア、インド、チャイナとともに、BRICs と呼ばれる存在になる。
- b. **[21] MERCOSUR** …^{メルコスール}南米南部共同市場。南米全体の統合に向け自由貿易市場の確立を目的。加盟国はアルゼンチン、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラの五か国。

(2) 経済発展の問題

<p>[22] 累積債務問題</p>	<p>格差社会</p>
<p>用語 対外債務</p> <p>対外債務とは、外国からの借金のことである。各国は経済の自立化・多角化のために、外国資本の導入により工業化を進めたが、借金の返済計画を考慮せずに経済政策が行われてきたため、累積した対外債務(累積債務)が財政に大きな影響を与えている。</p>	<p>[23] ファヴェーラ</p> <p>ブラジル国民の所得分配の著しい不平等の産物。ブラジルでは人口の上位10%が国庫収入の50%を稼ぎ、人口の34%が貧困線以下で生活している。</p> 